

# 正しい分別で

私たちのまちを

# きれいに しましょ

ごみを出すときは、毎年3月中旬に各家庭に配布している「ごみの正しい出し方」を参考に、分別を徹底してください。「ごみの正しい出し方」は、公民館・コミュニティセンター・廃棄物対策課で配布、市ホームページで見ることができます。

1回に出すごみの量は、1世帯2袋以下でお願いします。

正しく分別されていない袋や、午後10時以降に出された袋は、収集されずに取り残され、まちの美観や衛生上好ましくありません。皆さんの協力をお願いします。

また、家庭から出る紙ごみは、燃えるごみとして出すのではなく、子ども会などの集団回収や公民館などに設置している古紙等回収倉庫に出しましょう。回収された古紙は、再生品の原料になります。問い合わせ先

廃棄物対策課廃棄物担当

☎(580)1889

燃えるごみとして出す紙類	古紙等回収で出せるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇飲料用の紙パック（内側にアルミが貼られているもの）</li> <li>◇トレーシングペーパー ◇パラフィン紙</li> <li>◇シール、シールをはがした後の紙</li> <li>◇破るとビニールが伸びる紙</li> <li>◇写真 ◇裏カーボン紙</li> <li>◇汚れたもの（鼻紙、弁当の汁がついたもの）</li> <li>◇銀紙</li> <li>◇ガムテープ（「リサイクルできます」と記されているものを除く）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇新聞紙、チラシ ◇コピー用紙 ◇段ボール</li> <li>◇書籍・雑誌（のり付け、ホチキス止めされたものを含む）</li> <li>◇雑がみ（紙袋などに入れると簡単です）</li> <li>包装紙・コピー用紙を包んでいる紙・付箋紙・破った紙・紙箱・封筒・ティッシュの箱・ラップやトイレットペーパーの芯・リサイクルできることが明記された紙のテープ</li> <li>※ビニールなど紙以外のものは、取り外してください。</li> <li>◇飲料用の紙パック（内側にアルミが貼られていないもの）</li> <li>◇シュレッダーの紙（受け入れできる幅・厚さは、古紙回収業者により異なります）</li> </ul>
<p>※古紙回収した紙は、回収業者がさらに選別し、製紙会社でさまざまな処理を経て再生品になります。きちんと分別されていないと、作業効率が低下することからリサイクルが難しくなります。</p>	

## あけてみよう！歴史のたびら 14

### 手もみ洗いに使った 民具たらい

今、皆さんの家で活躍している電動の洗濯機が発売されたのは昭和28年のことでした。それ以前の洗濯は、すべて手洗いでした。暑い夏の日には汗をかきながら、寒い冬の日には冷たい水で霜焼けになりながら、せつせと洗濯をしていた時代がありました。

大正生まれの女性に話を聞くと、家事の中で一番きつい仕事は洗濯だったと言われます。初夏になると、冬の間家族全員が着ていた着物や綿入れやふとんの縫い目をほどこいて洗い、のりをつけ、乾かします。ふとんもすべて打ち直します。農作業の合間を見て縫い始め、冬になる前の彼岸のころまでにすべてやり終えてしまわなければ、「びつたれおどし」と言われまし

た。「びつたれおどし」とは、十月の末に吹く冷たい風のことです。このころまでに冬支度が終わっていない主婦たちは、だらしないと言われました。

洗濯に使用する民具には、たらい、洗濯板、張り板、伸子針などがあります。たらい（大・小・手水たらい）と洗濯板と張り板は女性が嫁入り道具として必ず持つていきました。その中でも大きなたらいは子どもが産まれたときに産湯につけるまでは使わなかったそうです。

問い合わせ先

歴史資料展示室（市役所新館3階）

☎(580)1918

観覧料 無料

開室時間 月～金曜日 午前9時

半～午後5時



たらい・洗濯板・張り板